

# おかやま労働安全 衛生センター

2026年 1月19日 第37号

〒700-0094

岡山市北区春日町5-6 岡山市勤労者福祉センター3階

電話 086-266-8008

FAX 086-232-3714

E-mail oka2012ro-an@41.toki.ne.jp

## 今年も労災者、アスベストによる健康被害者 に寄り添い、問題の解決に向け頑張ります

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様にはお元気で新年を迎えたことと思います。

「おかやま労働安全衛生センター」は、2012年4月に結成してから14年が経過しようとしています。来年は結成から15周年を迎えます。会員、賛助会員、支援を頂いている皆さんに参加していただけるイベントを企画する予定です。その際は、ぜひ宜しくお願ひします。

昨年の1年間もアスベスト被災者をはじめパワハラ問題などの掘り起こしと、労働局交渉などで災害が起きない職場環境を求めてきました。

10月に高市政権が誕生し、その時に発した「働いて、働いて、働いて」が2025年の流行語大賞に選ばれました。働き方改革でゆとりある働きを求める内容から逆行するもので、過労死や精神疾患の労働者が増える中、看過できません。

今年もアスベスト被災者やパワハラ問題などの掘り起こしの相談会やホットラインでの相談者への、きめ細かい対応をしていきます。

また、泉南型国賠や建材メーカーに対する損害賠償補償を求めている裁判闘争も引き続き支援していきます。組織を維持していく上で、会員拡大は至上命題です。会員拡大に向けて頑張っていきます。

今年の1年間も会員の皆様や関係者及び団体の支援を得ながら活動していきます。

引き続き一層のご支援とご協力を宜しくお願ひ致します。



(役員一同)

## 【主な経過】

- 12月 3日 第7回運営委員会
- 12月18日～19日 全国一斉アスベストホットライン
- 12月23日 ホットライン総括会議
- 1月 7日 第8回運営委員会 岡山建設アスベスト裁判
- 1月13日 岡山アスベスト弁護団会議



# アスベストホットライン

全国一斉アスベスト被害ホットライン(12月18日～19日)のスローガンは、『しない・させない、泣き寝入り・被害隠し』として開催。

中皮腫の年間死亡者は1562人。補償・救済率は中皮腫で67%、石綿肺がんでは23%で進まず、未だに治療、看護に関する患者・家族の不安、悩みが絶えません。

## 1. 今回のホットライン開催の意義

- ①石綿ばく露作業による労災認定等事業場の公表時期に合わせた、全国一斉ホットラインの取り組み(無料)
  - ②「患者・家族」の団体による電話相談
  - ③企業別訴訟や国賠訴訟、建設訴訟での成果
  - ④あきらめないで相談を！埋もれる被害の掘り起こしを！
- なお、ネットでは、過去すべての認定事業場の公表情報が検索可能です。

## 2. 代表的な石綿関連疾患

### ・中皮腫

中皮腫は、アスベストが唯一の原因として発症する悪性腫瘍で、予後が厳しい疾病で、胸膜、腹膜、心膜、精巣鞘膜に出現する。

### ・肺がん

アスベストが原因の肺がんは、中皮腫の2倍にあたる被害者がいるとされている。近年の国際的な動向では、4～6倍ほどになるという調査結果も出されている。

### ・石綿肺(アスベスト肺)

粉じんを長期間ばく露すると、肺に線維性の病変が起こり、呼吸困難などの症状が起こる。これを「じん肺」と言いますが、アスベストの粉じんを原因とするものについて、「石綿肺」と言う。

### ・良性石綿胸水(石綿胸膜炎)、びまん性胸膜肥厚

良性石綿胸水は、アスベストのばく露により胸膜炎が起こり、胸腔に水がたまった状態を言う。場合によっては、胸水によって呼吸機能が低下する。びまん性胸膜肥厚は、肺側と胸壁側の胸膜が癒着して厚くなっている状態を指し、癒着が広範囲で起こるため、呼吸困難を引き起こす。

## 【アスベスト労災認定事業所】（岡山の一覧）

厚生労働省は12月17日、アスベスト（石綿）が原因の疾患で2024年度に労災認定された人や、特別遺族給付金の対象となった人が働いていた全国1257事業所の名称や所在地、従事した作業内容をホームページで公表した。

### 建設業以外の事業所

【岡山市】山陽流通運輸、内山工業岡山第一工場

【玉野市】三井造船玉野事業所（現三井E & S玉野事業場）、三井造船玉野事業所（三井E & S造船）、尾崎工業所（桑村工業）

【倉敷市】クラレ玉島工場（現クラレ玉島）、シンニチロ水島事業所、三菱自動車工業水島製作所

### 建設業の事業所

【岡山市】伊藤組、装巧社、朝日管工、山室建設、西武冷熱工業、本城瓦産業

【倉敷市】JFEメカニカル倉敷事業所（現JFEプラントエンジニアリング倉敷事業所）、インテリア森分（個人名）、岡輝電気工事、矢熊工務店、藤広工業

【津山市】藤田溶接鉄工所

【高梁市】さんび

## 全国一斉アスベスト被害ホットライン

厚労省の労災認定事業場公表の時期に合わせ、全国一斉アスベスト被害ホットラインが、「中皮腫・アスベスト疾患・患者と家族の会」、協力「全国労働安全衛生センター連絡会議」主催により、2025年12月18日（木）と19日（金）に、全国4カ所の地域相談ポイント（東京、名古屋、大阪、福岡）で行われた。

岡山県、香川県からの相談は福岡の相談ポイントで対応され、香川県2件（胸膜プラーク、びらん性肥厚の自然気胸）、岡山県5件（胸膜中皮腫で死亡、胸が痛む、プラークありの診断、開示請求して判断、相談終了）の相談があり、現在対応している。

いまだに増え続けているアスベスト被害者の救済とアスベスト問題を世の中によく知ってもらうために、行っている。

相談後のフォローで多くの労災認定（厚労省）、救済認定（労災以外は環境再生保全機構）も実現している。ホットラインを行って改めて、アスベスト被害の広がりを実感するとともに、まだまだ、情報が患者と家族に届いていない現実を思い知らされている。

労災認定事業場公表は、同一事業場や類似事業場に働いていた被害者、遺族に、労災申請など補償、救済の大きなきっかけとなる。また、事業場の周辺に居住、通勤、通学していた人、労働者の家族に、自分や家族の病気が、アスベストが原因ではないか知る大事な契機となる。

日常的に寄せられる相談の中には、「監督署で労災は難しいと言われた」、「救済給付を受給しているが労災の話は何もされなかった」というものがあります。また、過去すべての認定事業場の公表情報が検索できるようになっています。

周りにアスベストによる健康被害が疑わしいと思われる人たちがおられたら、ネットでの検索やおかやま労安センターへの相談を紹介して下さい。

# 岡山建設アスベスト裁判の経過

1月7日(水)13時30分～岡山地裁で、建設アスベスト訴訟の公判(ズーム)が開かれた。本件の被告側のアスベスト建材メーカーは5社「ノザワ、A&Aマテリアル、M・M・K、ニチアス、神島化学」である。

国と建材メーカーの責任は、2021年の最高裁判決で確定。しかし、建材メーカーは、訴訟で個々の事案の賠償責任の判断を仰ぐ旨を主張。全国で多くの訴訟が争われている。岡山建設アスベスト訴訟は、被告建材メーカーは、建材のシェア率、取引先(戸建て 大型建築物)や原告の業務内容により、賠償責任の有無や賠償額の減額を主張の方向だ。

後半は、ニチアスが12月3日付けで提出した準備書面(ニチアスは戸建てに使用。大きい建築物に使用していない)の陳述を確認。また、原告側が12月20日付けで提出した準備書面(ニチアスに対する反論)の陳述を確認。更に、前回の公判で、裁判所から求められていた、昨年8月7日に東京高裁で和解した首都圏建設アスベスト・東京1陣訴訟と東京2陣訴訟、同年8月20日に大阪高裁で和解した(関西アスベスト大阪第2陣、第3陣訴訟)和解内容を証拠書類として甲号証(証拠書類)として提出を確認した。

この後、今後の双方の主張の考え方を裁判所から尋ねられ、ノザワ、神島化学、A&Aマテリアルは、現時点では新たに反論を考えていない旨が伝えられた。

ニチアスは、原告が12月20日付けで提出した準備書面に対し反論があるが、今日の公判に間に合わなかった為、次回の公判までに提出する旨を確認した。

M・M・Kは、自社の中国地方におけるアスベスト建材のシェア率について意見がある旨を主張(次回の公判に準備書面提出)の可能性もある。

このような経過を受け、裁判所から提示されている「争点整理表」について、次回公判までに埋められる所を埋めてほしい旨が伝えられ、原告及び被告の双方が了承した。

次回公判は、3月18日(水)10時～岡山地裁で開かれる。後数回で証人尋問の予定。

## アスベスト健康被害も労災の対象で、5年で時効となるが、石綿健康被害者救済法は適用

石綿ばく露作業を原因とするアスベスト健康被害は労災給付の対象です。但し、業務との因果関係が不明である場合や病状の内容が基準を満たさない場合は、認定を受けることができません。また、労災補償は、5年が経過すると時効が成立し、請求権が消滅します。

しかし、保険以外の救済手続きは、『①石綿健康被害救済制度による救済給付金。②国への賠償金・給付金請求。③企業に対する損害賠償請求。』があります。

皆さんの周りにアスベストによる健康被害の疑いの方、アスベストが原因で亡くなられた疑い方おられたら、おかやま労安センターに相談するようにアドバイスして下さい。

### 【面する取り組み】

- 2月 4日 第9回運営委員会 14時～
- 2月 5日 ホットライン総括会議 17時～
- 3月18日 岡山建設アスベスト裁判 10時～岡山地裁

